

令和4年9月13日

令和4年夏期における水難の概況

警察庁生活安全局生活安全企画課

1 概要

(1) 全国の発生状況

令和4年夏期(7～8月の2か月間をいう。以下同じ。)における水難は

○ 発生件数 459件 (前年対比 +8件)

○ 水難者 638人 (前年対比 +73人)

うち死者・行方不明者
228人 (前年対比 +16人)

であった(数値は速報値)。

このうち、中学生以下は

○ 発生件数* 50件 (前年対比 -17件)

○ 水難者 120人 (前年対比 +10人)

うち死者・行方不明者
9人 (前年対比 -7人)

であった。

過去5年間の夏期における水難発生状況をみると、今年の発生件数は2番目に少なかったが、水難者数は最も多くなった。

*中学生以下の水難発生件数は、水難者が中学生以下のみの場合をいう。

(2) 都道府県別水難発生状況

水難発生件数を都道府県別にみると、最も多いのが東京都と岐阜県で28件、次いで千葉県が27件、静岡県、沖縄県が25件であった。

2 特徴

(1) 年齢層別

水難者638人について、中学生以下は、120人(18.8%)である。

(2) 場所別・行為別(全年齢層)

水難者638人について、発生した場所別にみると、多い順に

○ 海 314人(49.2%) (前年対比+19人)

○ 河川 277人(43.4%) (前年対比+74人)

であり、行為別にみると、多い順に

○ 水遊び 214人(33.5%) (前年対比+72人)

○ 魚とり・釣り 104人(16.3%) (前年対比+24人)

○ 水泳 68人(10.7%) (前年対比-18人)

で水遊び、魚とり・釣りが増加した。

死者・行方不明者228人について、発生した場所別にみると、

○ 海 113人(前年対比+19人)

○ 河川 88人(前年対比+1人)

で海・河川ともに増加した。

(3) 場所別・行為別(中学生以下)

中学生以下の死者・行方不明者9人について、発生した場所別にみると、多い順に、

- 海 5人 (55.6%)
- 河川 4人 (44.4%)

であり、行為別にみると、最も多いのは

- 水遊び 7人 (77.8%)

であった。

注：％は、小数点以下第2位を四捨五入。（表3～10においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）

3 水難の防止対策

水難を未然に防ぐためには、海や河川など、それぞれの自然環境の特徴を理解し、水難につながりやすい危険な場所、危険な行為などを知ることが重要であり、次に掲げる点に留意する必要がある。

○ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所や水温の変化、水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

○ 的確な状況判断

風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているときなど、河川が増水するおそれが高いときには、釣りや水泳、中洲や河原でのバーベキューなどを行わない。

海においては、天候の変化や波の高さに注意を払い、海岸の地形や沖合で台風が発生している場合など、離岸流や高波が発生するおそれが高いときは、海に入らない。

また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

○ ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

○ 遊泳時の安全確保

- ・ 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らない。
- ・ 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- ・ 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- ・ 遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
- ・ 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。

○ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供だけでは水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

表1 水難発生状況(過去5年)

(夏期)

	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下
発生件数(件)	502	81	461	62	504	60	451	67	459	50
水難者(人)	595	117	594	107	616	101	565	110	638	120
死者・行方不明者	242	14	239	14	262	16	212	16	228	9
死者	237	14	237	14	260	16	204	16	225	9
行方不明者	5		2		2		8		3	
負傷者	116	32	112	29	73	15	77	15	81	16
無事救出	237	71	243	64	281	70	276	79	329	95

注:「発生件数(件)」の、「中学生以下」欄は水難者が中学生以下のみであった件数を示す。

発生件数等の推移

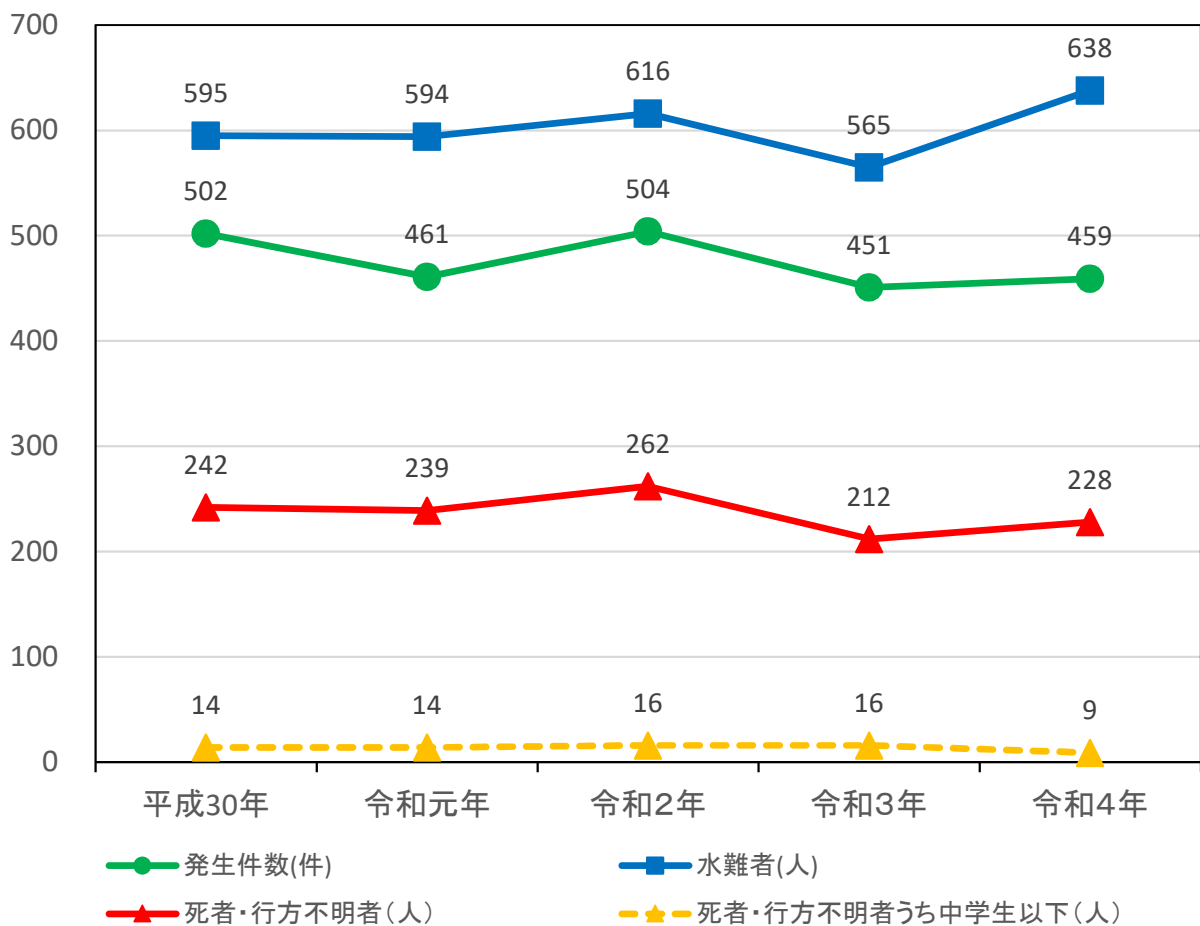


表2 都道府県別水難発生状況

(令和4年夏期)

	発生件数(件)		水難者総数(人)									
		うち中学生以下	死者		行方不明者		負傷者		無事救出			
			うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下				
北海道	20	1	30	4	4			6	1	20	3	
東北	青森	8	9	1	3			1		5	1	
	岩手	3	3		2			1				
	宮城	4	1	4	1	2				2	1	
	秋田	8	1	9	2	4		1		4	2	
	山形	4		4		3		1				
	福島	5		5		4				1		
東京	28	1	30	3	20			2		8	3	
関東	茨城	8	14	3	4			2	2	8	1	
	栃木	4	1	6	2	3				3	2	
	群馬	1		1		1						
	埼玉	9	1	11	2	7		2	1	2	1	
	千葉	27	3	29	4	10		1	4	14	4	
	神奈川	13		21	2	8		4		9	2	
	新潟	13	2	17	5	6	1			11	4	
	山梨	2		2						2		
	長野	3	1	3	1	1				2	1	
	静岡	25	8	27	9	8	1	1	4	1	14	7
中部	富山	10	1	10	1	7		3	1			
	石川	7		8		3		2		3		
	福井	10	1	10	1	6		3	1	1		
	岐阜	28	3	43	6	10		2	1	31	5	
	愛知	11	1	16	5	4		3	1	9	4	
	三重	12	2	13	3	7	1		2		4	2
近畿	滋賀	10		65	12	2		2		61	12	
	京都	8	2	10	4	4				6	4	
	大阪	5		5		5						
	兵庫	12	2	19	2	3		4		12	2	
	奈良	3	1	3	1	1		1		1	1	
	和歌山	10		10		6		4				
中国	鳥取	7		13		2		2		9		
	島根	10	1	18	2	4	1			14	1	
	岡山	2	1	3	1	1	1		2			
	広島	11		12		7		1		3		
	山口	1		1		1						
四国	徳島	5		6	1	3		1		2	1	
	香川	5		9	4	4				5	4	
	愛媛	7	1	11	3	4				7	3	
	高知	15		24	6	8		2	1	14	5	
九州	福岡	14	1	16	3	7		4		5	3	
	佐賀	5		6	1	3				3	1	
	長崎	2		2						2		
	熊本	8	3	12	7	8	3	2	2	2	2	
	大分	4	1	4	1	3		1	1			
	宮崎	11	3	11	3	6		1	1	4	2	
	鹿児島	16		18	2	8		5		5	2	
	沖縄	25	6	35	12	8	1	6	2	21	9	
計	459	50	638	120	225	9	3	81	16	329	95	

表3 年齢層別 水難者数

(夏期)

	令和4年	
	人数	構成比
中学生以下	120	18.8%
未就学児童	20	3.1%
小学生	71	11.1%
中学生	29	4.5%
高校生又はこれに相当する年齢の者	29	4.5%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	339	53.1%
65歳以上の者	142	22.3%
不明	8	1.3%
合計(人)	638	

表4 場所別 水難者数

(夏期)

	令和4年	
	人数	構成比
海	314	49.2%
河川	277	43.4%
湖沼池	20	3.1%
用水路	19	3.0%
プール	6	0.9%
その他	2	0.3%
合計(人)	638	

表5 行為別 水難者数

(夏期)

	令和4年	
	人数	構成比
水泳	68	10.7%
水遊び	214	33.5%
魚とり・釣り	104	16.3%
作業中	16	2.5%
通行中	21	3.3%
その他	215	33.7%
陸上における遊戯・スポーツ中	11	1.7%
ボート遊び	48	7.5%
水難救助活動	36	5.6%
シュノーケリング	19	3.0%
スキューバダイビング	5	0.8%
サーフィン	10	1.6%
その他	21	3.3%
不明	65	10.2%
合計(人)	638	

表6 年齢層別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
中学生以下	14	14	16	16	9	3.9%
未就学児童	2	3	4	3	1	0.4%
小学生	8	11	7	10	6	2.6%
中学生	4		5	3	2	0.9%
高校生又はこれに相当する年齢の者	11	10	9	8	7	3.1%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	126	113	114	82	97	42.5%
65歳以上の者	91	88	113	100	107	46.9%
不明		14	10	6	8	3.5%
合計(人)	242	239	262	212	228	

死者・行方不明者の年齢層別構成比の推移

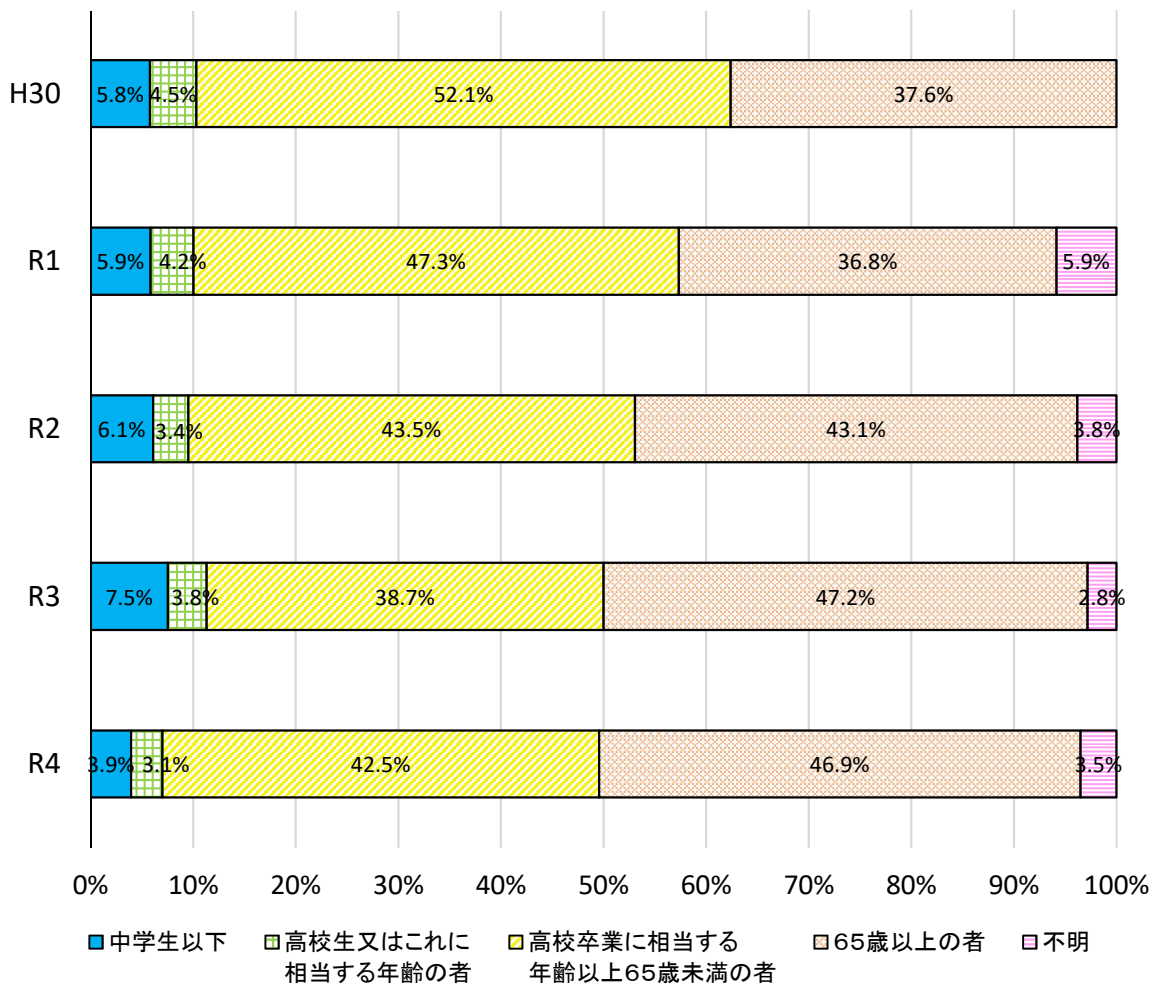


表7 場所別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	146	121	114	94	113	49.6%
河川	70	92	112	87	88	38.6%
湖沼池	13	10	11	13	9	3.9%
用水路	12	9	20	16	15	6.6%
プール		5	2	2	1	0.4%
その他	1	2	3		2	0.9%
合計	242	239	262	212	228	

死者・行方不明者の場所別構成比の推移

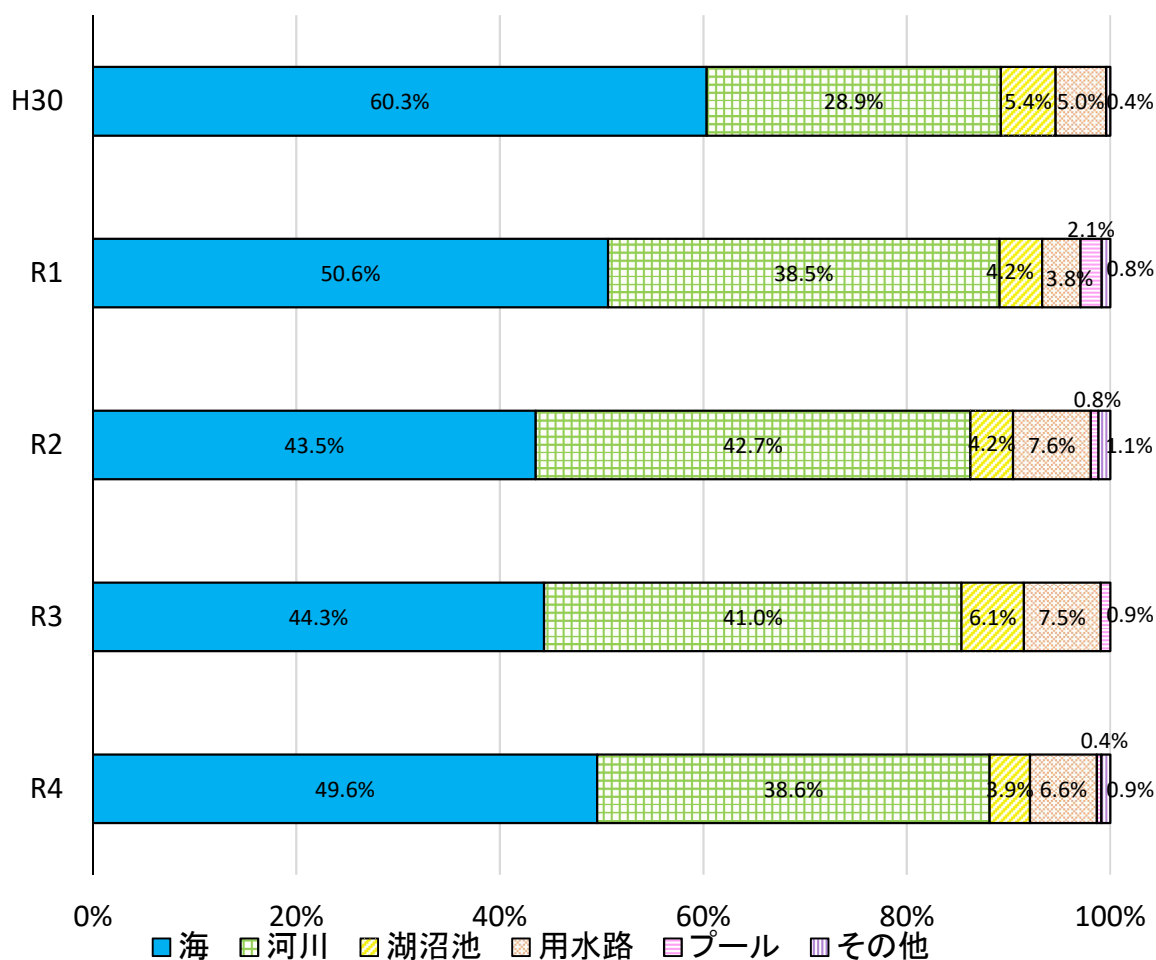


表8 場所別 死者・行方不明者数(中学生以下)

(夏期)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	4	6	4	4	5	55.6%
河川	7	5	9	9	4	44.4%
湖沼池	2	1	1	2		
用水路	1		1	1		
プール		2				
その他			1			
合計	14	14	16	16	9	

死者・行方不明者(中学生以下)の場所別構成比の推移

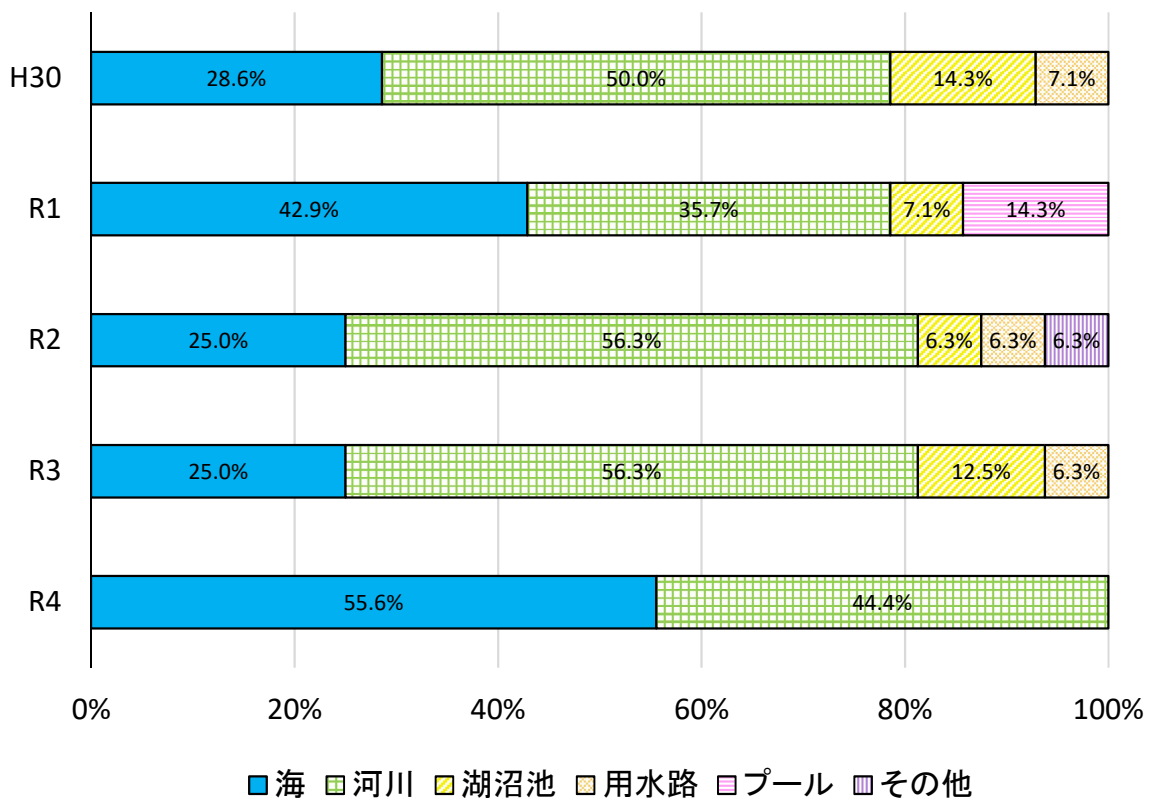


表9 行為別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	39	38	28	23	25	11.0%
水遊び	55	42	52	31	29	12.7%
魚とり・釣り	57	67	73	49	56	24.6%
作業中	12	8	13	4	13	5.7%
通行中	8	9	10	11	4	1.8%
その他	71	75	86	94	101	44.3%
陸上における遊戯・スポーツ中	1				2	0.9%
ボート遊び	2	3	1	3	4	1.8%
水難救助活動	10	5	4	5	8	3.5%
シュノーケリング	14	4	8	10	13	5.7%
スキューバダイビング	6	4	6	3	3	1.3%
サーフィン	4	2	1	4	4	1.8%
その他	6	7	7	12	5	2.2%
不明	28	50	59	57	62	27.2%
合計	242	239	262	212	228	

死者・行方不明者の行為別構成比の推移

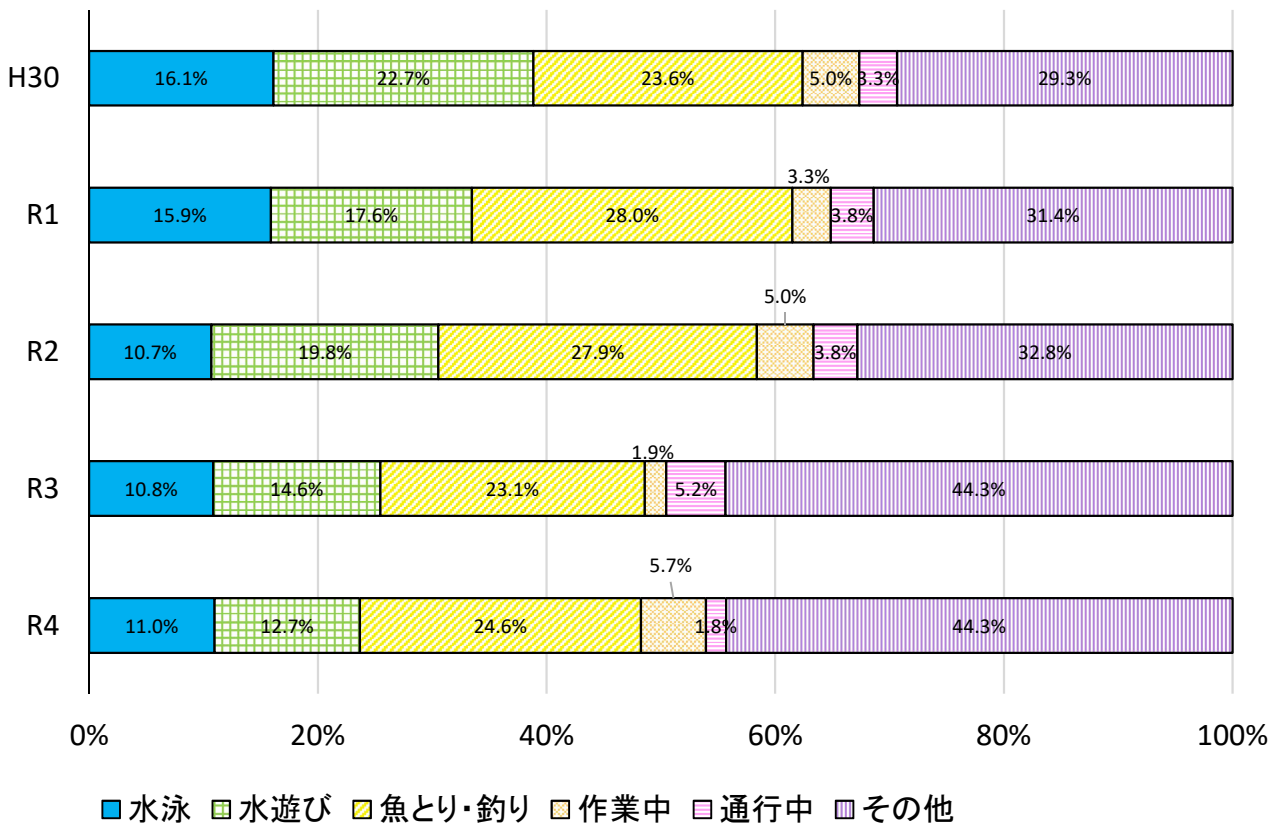


表10 行為別 死者・行方不明者数(中学生以下)

(夏期)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	4	2	4	4	1	11.1%
水遊び	8	7	9	6	7	77.8%
魚とり・釣り			1		1	11.1%
作業中						
通行中		3		1		
その他	2	2	2	5		
陸上における遊戯・スポーツ中						
ボート遊び						
水難救助活動						
シュノーケリング				1		
スキューバダイビング						
サーフィン						
その他		1				
不明	2	1	2	4		
合計	14	14	16	16	9	

死者・行方不明者(中学生以下)の行為別構成比の推移

